



Press Release  
報道関係各位

2026年1月19日  
キャロウェイゴルフ株式会社  
callawaygolf.jp

キャロウェイ  
極薄チタン+カーボンの三層フェースだから実現した、  
かつてないほどの圧倒的スピード  
QUANTUMドライバー シリーズ

キャロウェイゴルフ株式会社（東京都港区南青山 社長：庄司明久）は、「QUANTUMドライバー シリーズ」を2026年2月6日より、全国のキャロウェイゴルフ取扱店とキャロウェイ オンラインストア(callawaygolf.jp)にて発売いたします。

PGAツアーなどで公式に使用されている各ショットの指標、「Strokes Gained（ストロークス・ゲインド）」によると、正確性よりも飛距離のほうが重要であり、ドライバーの飛距離が伸びると平均的にスコアは良くなる傾向があるとのこと。これは、グリーンを狙うショットの距離が短いほど、乗る確率や寄せる確率が高いためです。キャロウェイでは、2026年モデルのドライバーを開発するにあたり、「SPEED IS EVERYTHING=スピードがすべて」というテーマを掲げました。つまり、さらなる速さの追求です。具体的な方法として辿り着いたのは、フェース素材のチタンを最大限に薄肉化し、優れた反発力を極限まで引き出すこと。耐久性などを確保するべくポリマー素材とカーボンファイバーを重ね、業界初となる異素材による三層構造の「TRI-FORCE（トライフォース）フェース」を完成させた結果、得られたボール初速と飛距離性能は従来とは桁違いのレベルにまで到達したものとなりました。新シリーズには、“飛躍的な”という意味を持つ「QUANTUM（クアंटム）」という名が与えられ、「QUANTUM MAXドライバー」「QUANTUM MAX Dドライバー」「QUANTUM MAX FASTドライバー」「QUANTUM ◆◆◆ドライバー」「QUANTUM ◆◆◆ MAXドライバー」の5機種をラインアップ。今回は、これまで以上に豊富なオリジナルシャフトを用意している点も要注目です。

QUANTUM（クアंटム）ドライバー シリーズ

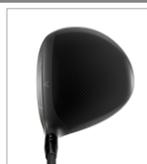
QUANTUM  
DRIVERS



QUANTUM MAXドライバー



QUANTUM MAX Dドライバー



QUANTUM MAX FASTドライバー



CALLAWAY SELECTED STORE 限定製品

QUANTUM ◆◆◆ドライバー



CALLAWAY SELECTED STORE 限定製品

QUANTUM ◆◆◆ MAXドライバー



## 極薄チタン+カーボンの三層構造フェースだから可能になった、 かつてないほどの圧倒的スピード

### QUANTUM MAX (クアンタム マックス) ドライバー

2026年2月6日発売予定

#### チタンを薄くするためのマルチレイヤーという答え

さらなるボールスピードを求めて、「QUANTUM (クアンタム)」シリーズのドライバーで注力されたのが、チタンフェースの反発力を究極とも言えるところまで追求することでした。従来のチタンフェースをさらに薄くすれば、当然、たわみを大きくすることは可能ですが、一方で耐久性の問題もあり、薄さの数値はすでに限界に到達しています。どうすれば、この問題を突破できるのか——。キャロウェイが導き出したのは、フェースのマルチレイヤー（多層）化でした。

#### 5万9000以上の試作と227万回を超えるシミュレーション

新たに導入された「TRI-FORCEフェース」は、名前のトライという言葉どおり、三層構造となっています。5万9000を超えるフェースデザインと227万回以上に及ぶインパクトシミュレーションを経て完成したものです。ボールのインパクト時に、フェースの打球面には圧力が、そしてフェース裏側には張力がかけられます。そこで、ボールを打つ打球面は、従来と同じく圧力に強いチタンを採用し、前作のELYTEシリーズのものより14%も薄肉化。このチタンと張力に強いカーボンファイバーの薄い層を最適な中間素材として選ばれたポリマー素材でできたポリメッシュによって重ねられました。この三層構造により、耐久性を維持しながらチタンフェースをより薄く設計でき、エネルギー伝達効率が高まると同時に、インパクト時のフェースのたわみ量やたわむスピードを高い精度でコントロールできるようになりました。

#### チタンが薄肉化で、AI設計による弾道補正効果も向上

フェースにはもちろん、キャロウェイが長年培ってきたAI設計が導入されていますが、「QUANTUM (クアンタム)」のドライバーにおいては、前述のように従来よりもチタン部分が大幅に薄くなったことで、フェースがインパクトでたわみやすくなった分、AI設計によるコントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果もこれまで以上に発揮されるようになりました。特に、フェースのさまざまな場所でボールを打っても、前作のELYTEよりスピン量の増減幅が非常に小さく、最適なスピン量を維持しやすくなっています。例えば、ヒールショットではスピが増えすぎることなく、ボールの吹き上がりを最小限に抑え、また、トゥショットではスピが減りすぎることなく、安定した飛距離が得られる設計です。



TRI-FORCEフェース



カーボン  
チタン  
ポリメッシュ

可能なかぎり薄くしてチタンならではの反発力をこれまで以上に引き出しながら、耐久性などを持たせるためにポリメッシュとカーボンファイバーを重ねている、三層構造のTRI-FORCEフェース

#### 2つのバイアスを選択できるディスクリート・ウェイト

シリーズにおいてスタンダードモデルとなるのが、「QUANTUM MAXドライバー」です。ヘッドは体積が460cm<sup>3</sup>で、キャロウェイらしい丸いフォルムをしており、前作のELYTEドライバーから形状を引き継いでいます。カーボンクラウンに対し、ソールにはチタンを使用していますが、これは低・深重心にして、やさしくボールが上がるようにするための設計です。ロフトは9.0、10.5、12.0度（カスタムのみ）の3種類でアジャスタブルホーゼルも採用。ソール後方には、ディスクリート・ウェイトと名づけられた新システムを搭載しており、内部の約9gのウェイトと約1gのウェイトの位置を入れ替えることで、ドロ・バイアス（ヒール約9g/トゥ約1g）とニュートラルバイアス（ヒール約1g/トゥ約9g）を選択できます。なお、ソール前方のウェイトは、約2gとなっています。

#### 豊富なオリジナルシャフトで、よりフィットした1本を

「QUANTUM」シリーズにおいては、より各々のプレーヤーにぴったりのクラブを提供すべく、フレックスや重量帯のバリエーションも豊富なオリジナルシャフトを採用している点も見逃せません。今回のラインアップは、完全オリジナルブランドのATHLEMAX（アスレマックス）とSPDSTAR（エスピーディースター）、既存ブランドのシャフトを「QUANTUM」に合うよう調整したTENSEI GRAYという3種類。「QUANTUM MAXドライバー」では、SPEEDER NX GOLD 50とTOUR AD FI 5に加えて、ATHLEMAX 50と元調子に近い特性を持つTENSEI GRAY 60の合計4種類のシャフトが用意されています。



ヘッド後端に搭載されている  
ディスクリート・ウェイト



ELYTEドライバーから  
引き継いだ丸いフォルム。  
クラウンはトライアクシャル  
カーボン製



Press Release  
報道関係各位

2026年1月19日  
キャロウェイゴルフ株式会社  
callawaygolf.jp

## 高弾道ドロウを異次元のスピードで オートマチックに解放放つ

QUANTUM MAX D (クアンタム マックス D) ドライバー

2026年2月6日発売予定

### チタンを薄くするためのマルチレイヤーという答え

さらなるボールスピードを求めて、「QUANTUM (クアンタム)」シリーズのドライバーで注力されたのが、チタンフェースの反発力を究極とも言えるところまで追求することでした。従来のチタンフェースをさらに薄くすれば、当然、たわみを大きくすることは可能ですが、一方で耐久性の問題もあり、薄さの数値はすでに限界に到達しています。どうすれば、この問題を突破できるのか——。キャロウェイが導き出したのは、フェースのマルチレイヤー（多層）化でした。

### 5万9000以上の試作と227万回を超えるシミュレーション

新たに導入された「TRI-FORCEフェース」は、名前のトライという言葉どおり、三層構造となっています。5万9000を超えるフェースデザインと227万回以上に及ぶインパクトシミュレーションを経て完成したものです。ボールのインパクト時に、フェースの打球面には圧力が、そしてフェース裏側には張力がかけられます。そこで、ボールを打つ打球面は、従来と同じく圧力に強いチタンを採用し、前作のELYTEシリーズのものより14%も薄肉化。このチタンと張力に強いカーボンファイバーの薄い層を最適な中間素材として選ばれたポリマー素材でできたポリメッシュによって重ねられました。この三層構造により、耐久性を維持しながらチタンフェースをより薄く設計でき、エネルギー伝達効率が高まると同時に、インパクト時のフェースのたわみ量やたわむスピードを高い精度でコントロールできるようになりました。

### チタンが薄肉化で、AI設計による弾道補正効果も向上

フェースにはもちろん、キャロウェイが長年培ってきたAI設計が導入されていますが、「QUANTUM (クアンタム)」のドライバーにおいては、前述のように従来よりもチタン部分が大幅に薄くなったことで、フェースがインパクトでたわみやすくなった分、AI設計によるコントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果もこれまで以上に発揮されるようになりました。特に、フェースのさまざまな場所でボールを打っても、前作のELYTEよりスピン量の増減幅が非常に小さく、最適なスピン量を維持しやすくなっています。例えば、ヒールショットではスピが増えすぎることなく、ボールの吹き上がりを最小限に抑え、また、トゥショットではスピが減りすぎることなく、安定した飛距離が得られる設計です。



TRI-FORCEフェース



カーボン

チタン

ポリメッシュ

可能な限り薄くしてチタンならではの反発力をこれまで以上に引き出しながら、耐久性などを持たせるためにポリメッシュとカーボンファイバーを重ねている、三層構造のTRI-FORCEフェース

### チタン製ソールで、高弾道も打ちやすく

「QUANTUM MAX Dドライバー」は、シリーズのなかでも、よりボールのつかまりが良く、高弾道を放っていけるモデルです。ヘッドは体積が460cm<sup>3</sup>で前後長の長いフォルムとなっており、前作のELYTE Xドライバーから形状を引き継いでいます。カーボンクラウンに対し、ソールにはチタンを使用していますが、これは低・深重心にして、やさしくボールが上がるようにするための設計です。ロフトは9.0、10.5、12.0度（カスタムのみ）の3種類。アジャスタブルホーゼルも採用。ソール前方には約2gのスクリューウェイトを搭載しています。

### 豊富なオリジナルシャフトで、よりフィットした1本を

「QUANTUM」シリーズにおいては、より各々のプレーヤーにぴったりのクラブを提供するべく、フレックスや重量帯のバリエーションも豊富なオリジナルシャフトを採用している点も見逃せません。今回のラインアップは、完全オリジナルブランドのATHLEMAX（アスレマックス）とSPDSTAR（エスピーディースター）、既存ブランドのシャフトを「QUANTUM」に合うよう調整したTENSEI GRAYという3種類。「QUANTUM MAX Dドライバー」では、SPEEDER NX GOLD 50とTOUR AD FI 50に加えて、ATHLEMAX 50が用意されています。

ヘッド後端には、ディスクリット・ウェイトを搭載していない。QUANTUM MAXドライバー同様、ソールをチタン製にし、低・深重心化



QUANTUM MAXドライバーと比較すると、より前後長があるヘッド形状となっている



Press Release  
報道関係各位

2026年1月19日  
キャロウェイゴルフ株式会社  
callawaygolf.jp

## 新開発フェース×振り抜くスイング 2つのスピードで飛ばせる軽量バージョン

QUANTUM MAX FAST (クアンタム マックス ファスト) ドライバー

2026年2月6日発売予定

### チタンを薄くするためのマルチレイヤーという答え

さらなるボールスピードを求めて、「QUANTUM (クアンタム)」シリーズのドライバーで注力されたのが、チタンフェースの反発力を究極とも言えるところまで追求することでした。従来のチタンフェースをさらに薄くすれば、当然、たわみを大きくすることは可能ですが、一方で耐久性の問題もあり、薄さの数値はすでに限界に到達しています。どうすれば、この問題を突破できるのか——。キャロウェイが導き出したのは、フェースのマルチレイヤー（多層）化でした。

### 5万9000以上の試作と227万回を超えるシミュレーション

新たに導入された「TRI-FORCEフェース」は、名前のトライという言葉どおり、三層構造となっています。5万9000を超えるフェースデザインと227万回以上に及ぶインパクトシミュレーションを経て完成したものです。ボールのインパクト時に、フェースの打球面には圧力が、そしてフェース裏側には張力がかけられます。そこで、ボールを打つ打球面は、従来と同じく圧力に強いチタンを採用し、前作のELYTEシリーズのものより14%も薄肉化。このチタンと張力に強いカーボンファイバーの薄い層を最適な中間素材として選ばれたポリマー素材でできたポリメッシュによって重ねられました。この三層構造により、耐久性を維持しながらチタンフェースをより薄く設計でき、エネルギー伝達効率が高まると同時に、インパクト時のフェースのたわみ量やたわむスピードを高い精度でコントロールできるようになりました。

### チタンが薄肉化で、AI設計による弾道補正効果も向上

フェースにはもちろん、キャロウェイが長年培ってきたAI設計が導入されていますが、「QUANTUM (クアンタム)」のドライバーにおいては、前述のように従来よりもチタン部分が大幅に薄くなったことで、フェースがインパクトでたわみやすくなった分、AI設計によるコントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果もこれまで以上に発揮されるようになりました。特に、フェースのさまざまな場所でボールを打っても、前作のELYTEよりスピン量の増減幅が非常に小さく、最適なスピン量を維持しやすくなっています。例えば、ヒールショットではスピが増えすぎることなく、ボールの吹き上がりを最小限に抑え、また、トゥショットではスピが減りすぎることなく、安定した飛距離が得られる設計です。

クラウンにもソールにもカーボンを使用して軽量化。  
QUANTUM MAXドライバーやQUANTUM MAX Dドライバーとは違い、カラーリングも全体にブラックを多用したものとなっている



QUANTUM MAX Dドライバーと同じく、フェース面から後端までが長い、安心感のあるヘッド形状となっている



TRI-FORCEフェース



カーボン

チタン

ポリメッシュ

可能な限り薄くしてチタンならではの反発力をこれまで以上に引き出しながら、耐久性などを持たせるためにポリメッシュとカーボンファイバーを重ねている、三層構造のTRI-FORCEフェース

### 軽量化を進めるために、360°カーボンシャークを採用

「QUANTUM MAX FASTドライバー」は、シリーズのなかでもっとも軽量で、ボールのつかまりが良く、高弾道を放っていけるモデルとなっています。ヘッドは体積が460cm<sup>3</sup>で、前作のELYTE MAX FASTドライバーの形状を引き継いでいます。また、軽量化のためにクラウンもソールもカーボン製の360°カーボンシャークを導入しており、ヘッドスピードを高めて、やさしく振り抜いていけるモデルとなっています。ロフトは、9.5、10.5、12.0度（カスタムのみ）の3種類。また、軽量ヘッドながら、アジャスタブルホーゼルも採用。ソール前方のスクリューウェイトは約2gです。

### 豊富なオリジナルシャフトで、よりフィットした1本を

「QUANTUM」シリーズにおいては、より各々のプレーヤーにぴったりのクラブを提供するべく、フレックスや重量帯のバリエーションも豊富なオリジナルシャフトを採用している点も見逃せません。今回のラインアップは、完全オリジナルブランドのATHLEMAX（アスレマックス）とSPDSTAR（エスピーディースター）、既存ブランドのシャフトを「QUANTUM」に合うよう調整したTENSEI GRAYという3種類。「QUANTUM MAX FASTドライバー」では、軽量のSPDSTAR 40が採用されています。



Press Release  
報道関係各位

2026年1月19日  
キャロウェイゴルフ株式会社  
callawaygolf.jp

## コントロールされた段違いのスピードで、 ツアーのシビアなコースも悠々と制圧

QUANTUM ◆◆◆ (クアンタムトリプルダイヤモンド) ドライバー

2026年2月6日発売予定

CALLAWAY SELECTED STORE 限定製品

### チタンを薄くするためのマルチレイヤーという答え

さらなるボールスピードを求めて、「QUANTUM (クアンタム)」シリーズのドライバーで注力されたのが、チタンフェースの反発力を究極とも言えるところまで追求することでした。従来のチタンフェースをさらに薄くすれば、当然、たわみを大きくすることは可能ですが、一方で耐久性の問題もあり、薄さの数値はすでに限界に到達しています。どうすれば、この問題を突破できるのか——。キャロウェイが導き出したのは、フェースのマルチレイヤー（多層）化でした。

### 5万9000以上の試作と227万回を超えるシミュレーション

新たに導入された「TRI-FORCEフェース」は、名前のトライという言葉どおり、三層構造となっています。5万9000を超えるフェースデザインと227万回以上に及ぶインパクトシミュレーションを経て完成したものです。ボールのインパクト時に、フェースの打球面には圧力が、そしてフェース裏側には張力がかかります。そこで、ボールを打つ打球面は、従来と同じく圧力に強いチタンを採用し、前作のELYTEシリーズのものより14%も薄肉化。このチタンと張力に強いカーボンファイバーの薄い層を最適な中間素材として選ばれたポリマー素材でできたポリメッシュによって重ねられました。この三層構造により、耐久性を維持しながらチタンフェースをより薄く設計でき、エネルギー伝達効率が高まると同時に、インパクト時のフェースのたわみ量やたわみスピードを高い精度でコントロールできるようになりました。

### チタンが薄肉化で、AI設計による弾道補正効果も向上

フェースにはもちろん、キャロウェイが長年培ってきたAI設計が導入されていますが、「QUANTUM (クアンタム)」のドライバーにおいては、前述のように従来よりもチタン部分が大幅に薄くなったことで、フェースがインパクトでたわみやすくなった分、AI設計によるコントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果もこれまで以上に発揮されるようになりました。特に、フェースのさまざまな場所でボールを打っても、前作のELYTEよりスピン量の増減幅が非常に小さく、最適なスピン量を維持しやすくなっています。例えば、ヒールショットではスピンの増えすぎることなく、ボールの吹き上がり量を最小限に抑え、また、トゥショットではスピンの減りすぎることなく、安定した飛距離が得られる設計です。

ヘッド後端には  
ディスクリット・ウェイト  
を搭載している



後端のやたわみ側にポリメッシュを  
持たせた洋ナンシ型のフォルム



可能なかぎり薄くしてチタンならではの反発力をこれまで以上に引き出しながら、耐久性を持たせるためにポリメッシュとカーボンファイバーを重ねている、三層構造のTRI-FORCEフェース

### 飛びと操作性を追求するべく、360°カーボンシャフトを採用

◆◆◆の名が示すとおり、「QUANTUM ◆◆◆ドライバー」はプロ、上級者用に開発されたモデルです。ヘッドは、体積が450cm<sup>3</sup>で洋ナンシ型のフォルムをしており、前作のELYTE ◆◆◆ドライバーから形状を引き継いでいます。飛距離性能と操作性をことごとく突き詰められるよう、重量配分の自由度を求めて、ク라운にもソールにもカーボンを使用した360°カーボンシャフトも導入。ロフトは8.0（カスタムのみ）、9.0、10.5度の3種類で、アジャスタブルホーゼルも採用しています。ソール後方には、ディスクリット・ウェイトが搭載され、内部の約9gのウェイトと約1gのウェイトの位置を入れ替えることで、ニュートラルバイアス（ヒール約9g/トゥ約1g）とフェードバイアス（ヒール約1g/トゥ約9g）を選択することができます。ソール前方のスクルーウェイトは約2gです。

### 豊富なオリジナルシャフトで、よりフィットした1本を

「QUANTUM」シリーズにおいては、より各々のプレーヤーにぴったりなクラブを提供するべく、フレックスや重量帯のバリエーションも豊富なオリジナルシャフトを採用している点も見逃せません。今回のラインアップは、完全オリジナルブランドのATHLEMAX（アスレマックス）とSPDSTAR（エスピーディースター）、既存ブランドのシャフトを「QUANTUM」に合うよう調整したTENSEI GRAYという3種類。「QUANTUM ◆◆◆ドライバー」では、SPEEDER NX GOLD 60とTOUR AD FI 6に加えて、ATHLEMAX 50と元調子に近い特性を持つTENSEI GRAY 60の合計4種類のシャフトが用意されています。



Press Release  
報道関係各位

2026年1月19日  
キャロウェイゴルフ株式会社  
callawaygolf.jp

## 安心感ある体積460cm<sup>3</sup>のツアーモデルも、 シリーズの通常ラインアップとして用意

QUANTUM ◆◆◆ MAX (クアンタム トリプルダイヤモンド マックス) ドライバー

2026年2月6日発売予定

CALLAWAY SELECTED STORE 限定製品

### チタンを薄くするためのマルチレイヤーという答え

さらなるボールスピードを求めて、「QUANTUM (クアンタム)」シリーズのドライバーで注力されたのが、チタンフェースの反発力を究極とも言えるところまで追求することでした。従来のチタンフェースをさらに薄くすれば、当然、たわみを大きくすることは可能ですが、一方で耐久性の問題もあり、薄さの数値はすでに限界に到達しています。どうすれば、この問題を突破できるのか——。キャロウェイが導き出したのは、フェースのマルチレイヤー（多層）化でした。

### 5万9000以上の試作と227万回を超えるシミュレーション

新たに導入された「TRI-FORCEフェース」は、名前のトライという言葉どおり、三層構造となっています。5万9000を超えるフェースデザインと227万回以上に及ぶインパクトシミュレーションを経て完成したものです。ボールのインパクト時に、フェースの打球面には圧力が、そしてフェース裏側には張力がかかります。そこで、ボールを打つ打球面は、従来と同じく圧力に強いチタンを採用し、前作のELYTEシリーズのものより14%も薄肉化。このチタンと張力に強いカーボンファイバーの薄い層を最適な中間素材として選ばれたポリマー素材でできたポリメッシュによって重ねられました。この三層構造により、耐久性を維持しながらチタンフェースをより薄く設計でき、エネルギー伝達効率が高まると同時に、インパクト時のフェースのたわみ量やたわむスピードを高い精度でコントロールできるようになりました。

### チタンが薄肉化で、AI設計による弾道補正効果も向上

フェースにはもちろん、キャロウェイが長年培ってきたAI設計が導入されていますが、「QUANTUM (クアンタム)」のドライバーにおいては、前述のように従来よりもチタン部分が大幅に薄くなったことで、フェースがインパクトでたわみやすくなった分、AI設計によるコントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果もこれまで以上に発揮されるようになりました。特に、フェースのさまざまな場所でボールを打っても、前作のELYTEよりスピン量の増減幅が非常に小さく、最適なスピン量を維持しやすくなっています。例えば、ヒールショットではスピが増えすぎることなく、ボールの吹き上がりを最小限に抑え、また、トゥショットではスピが減りすぎることなく、安定した飛距離が得られる設計です。

### ◆◆◆ドライバーのヘッドをそのまま大型化

「QUANTUM ◆◆◆ MAXドライバー」はプロ、上級者用に開発されたモデルですが、ヘッド体積はQUANTUM ◆◆◆ドライバーよりも大きい460cm<sup>3</sup>となっています。フォームはQUANTUM ◆◆◆ドライバーをそのまま大きくしたような洋ナシ型で、前作のELYTE ◆◆◆ MAXドライバーの形状を引き継いでいます。飛距離性能と操作性を突き詰められるよう、重量配分の自由度を求めて、クラウンにもソールにもカーボンを使用した360°カーボンシャーシも導入。ロフトは9.0、10.5度の2種類で、アジャスタブルホーゼルも採用しています。ソール後方にはディスクリート・ウェイトが搭載され、内部の約9gのウェイトと約1gのウェイトの位置を入れ替えることで、ニュートラルバイアス（ヒール約9g/トゥ約1g）とフェードバイアス（ヒール約1g/トゥ約9g）を選択することができます。ソール前方のウェイトは約2gです。

### 豊富なオリジナルシャフトで、よりフィットした1本を

「QUANTUM」シリーズにおいては、より各々のプレーヤーにぴったりなクラブを提供するべく、フレックスや重量帯のパリエーションも豊富なオリジナルシャフトを採用している点も見逃せません。今回のラインアップは、完全オリジナルブランドのATHLEMAX (アスレマックス) とSPDSTAR (エスピー・ディスター)、既存ブランドのシャフトを「QUANTUM」に合うよう調整したTENSEI GRAYという3種類。「QUANTUM ◆◆◆ MAXドライバー」では、SPEEDER NX GOLD 60とTOUR AD FI 6に加えて、ATHLEMAX 50と元調子に近い特性を持つTENSEI GRAY 60の合計4種類のシャフトが用意されています。



可能なかぎり薄くしてチタンならではの反発力をこれまで以上に引き出しながら、耐久性などを持たせるためにポリメッシュとカーボンファイバーを重ねている、三層構造のTRI-FORCEフェース



ヘッド後端にはディスクリート・ウェイトを搭載している



体積450cm<sup>3</sup>のQUANTUM ◆◆◆ドライバーを、フォームはそのままキープしながら、体積460cm<sup>3</sup>に大型化したようなヘッド



Press Release  
報道関係各位

2026年1月19日  
キャロウェイゴルフ株式会社  
callawaygolf.jp

【QUANTUM MAXドライバー スペック】

番手	W#1					
フェース素材 / 構造	鍛造 FS2S チタン+ポリメッシュ+カーボン / TRI-FORCEフェース					
ボディ素材	8-1-1 チタンボディ+トライアクシャル・カーボンクラウン+スクリューウェイト約2g+ディスクリート・ウェイト約9g+約1g					
クラブ長さ (インチ)	[A][B][C][D] 45.5					
ヘッド体積 (cm <sup>3</sup> )	460					
ロフト角 (°)	9.0		10.5			12.0
ライ角 (°)	58.0					

シャフト名 (硬さ)	[A](S)	[A](SR)	[A](R)	[B](S)	[C](S)	[D](S)	
ラインアップ	9.0	○●	□●	□●	○●	□●	□●
	10.5	○◎	○●	○●	○●	○●	○●
	12.0	□●	□●	□●	□●	□●	□●
バランス	D1.5			D3	D2.5		
クラブ重さ	約310g	約306g	約305g	約317g	約308g	約311g	
シャフト重さ	約55.0g	約54.0g	約52.0g	約63.5g	約53.5g	約57.0g	
シャフトトルク	4.9			4.4	4.6	4.5	
シャフト調子	中調子						

[A]ATHLEMAX 50(S, SR, R)  
¥110,000 (税抜価格¥100,000)



[B]TENSEI GRAY 60 for Callaway(S)  
¥110,000 (税抜価格¥100,000)



[C]SPEEDER NX GOLD 50(S)  
¥135,300 (税抜価格 ¥ 123,000)



[D]TOUR AD FI 5(S)  
¥132,000 (税抜価格 ¥ 120,000)



○：通常在庫 □：受注生産 ◎：左用モデル通常在庫 ●：左用モデル受注生産

\* ATHLEMAX 50, TENSEI GRAY 60 for Callawayは、シャフトカット前の値になります。

\* シャフトスペック値は、メーカー（SPEEDER=藤倉コンポジット株式会社、TOUR AD=株式会社グラフィックデザイン）の公表値になります。

\* Assembled in China / Japan ヘッドカバー：Made in China / Vietnam

GRIP：Callaway Tour Velvet 360ラバー バックライン無し



[A][B][C][D]シャフト装着：約50g,口径60



Press Release  
報道関係各位

2026年1月19日  
キャロウェイゴルフ株式会社  
callawaygolf.jp

## 【QUANTUM MAX Dドライバー スペック】

番手	W#1		
フェース素材 / 構造	鍛造 FS2S チタン+ポリメッシュ+カーボン / TRI-FORCEフェース		
ボディ素材	8-1-1 チタンボディ+トライアクシャル・カーボンクラウン+スクリューウェイト約2g		
クラブ長さ (インチ)	[A][B][C] 45.5		
ヘッド体積 (cm <sup>3</sup> )	460		
ロフト角 (°)	9.0	10.5	12.0
ライ角 (°)	59.0		

シャフト名 (硬さ)		[A](S)	[A](SR)	[A](R)	[B](S)	[C](S)
ラインアップ	9.0	○●	□●	□●	□●	□●
	10.5	○●	○●	○●	○●	○●
	12.0	□	□	□	□	□
バランス		D1				
クラブ重さ		約309g	約308g	約305g	約306g	約308g
シャフト重さ		約55.0g	約54.0g	約52.0g	約53.5g	約57.0g
シャフトトルク		4.9			4.6	4.5
シャフト調子		中調子				

[A]ATHLEMAX 50(S, SR, R)  
¥110,000 (税抜価格 ¥100,000)



[B]SPEEDER NX GOLD 50(S)  
¥135,300 (税抜価格 ¥123,000)



[C]TOUR AD FI 5(S)  
¥132,000 (税抜価格 ¥120,000)



○：通常在庫 □：受注生産 ●：左用モデル受注生産

\* ATHLEMAX 50は、シャフトカット前の値になります。

\* シャフトスペック値は、メーカー（SPEEDER = 藤倉コンポジット株式会社、TOUR AD = 株式会社グラフィックデザイン）の公表値になります。

\* Assembled in China / Japan ヘッドカバー：Made in China / Vietnam

GRIP：Callaway Tour Velvet 360ラバー バックライン無し



[A][B][C]シャフト装着：約50g,口径60



Press Release  
報道関係各位

2025年1月19日  
キャロウェイゴルフ株式会社  
callawaygolf.jp

【QUANTUM MAX FASTドライバー スペック】

番手	W#1		
フェース素材 / 構造	鍛造 FS2S チタン+ポリメッシュ+カーボン / TRI-FORCEフェース / フェースカップ		
ボディ素材	トライアクシャル・カーボンクラウン&ソール+スクリューウェイト約2g		
クラブ長さ (インチ)	[A] 46.0		
ヘッド体積 (cm <sup>3</sup> )	460		
ロフト角 (°)	9.5	10.5	12.0
ライ角 (°)	59.0		

シャフト名 (硬さ)	[A](S)	[A](SR)	[A](R)
ラインアップ	9.5	□	□
	10.5	○	○
	12.0	□	□
バランス	D0		
クラブ重さ	約285g	約284g	約282g
シャフト重さ	約50.0g	約48.0g	約46.0g
シャフトトルク	5.4	5.5	6.0
シャフト調子	中調子		

[A]SPDSTAR 40(S, SR, R)  
¥118,800 (税抜価格¥108,000)



○：通常在庫 □：受注生産 \*左用モデルの設定はありません  
\* SPDSTAR 40は、シャフトカット前の値になります。  
\* Assembled in China / Japan ヘッドカバー：Made in China / Vietnam

GRIP：GOLF PRIDE J200 ブラック/シルバー バックライン無し   
[A]シャフト装着：約41g,口径60



Press Release  
報道関係各位

2026年1月19日  
キャロウェイゴルフ株式会社  
callawaygolf.jp

【QUANTUM ◆◆◆ドライバー スペック】

CALLAWAY SELECTED STORE 限定製品

番手	W#1		
フェース素材 / 構造	鍛造 FS2S チタン+ポリメッシュ+カーボン / TRI-FORCEフェース / フェースカップ		
ボディ素材	トライアクシャル・カーボンクラウン&ソール+スクリューウェイト約2g+ディスクリート・ウェイト約9g+約1g		
クラブ長さ (インチ)	[A][B][C][D] 45.5		
ヘッド体積 (cm <sup>3</sup> )	450		
ロフト角 (°)	8.0	9.0	10.5
ライ角 (°)	57.0		

シャフト名 (硬さ)	[A](S)	[B](S)	[C](S)	[D](S)	
ラインアップ	8.0	□	□	□	□
	9.0	□■	○■	○■	○■
	10.5	○■	○■	□■	□■
バランス	D1.5	D3	D2.5	D3	
クラブ重さ	約309g	約318g	約316g	約321g	
シャフト重さ	約55.0g	約63.5g	約62.0g	約66.0g	
シャフトトルク	4.9	4.4	3.5	3.2	
シャフト調子	中調子				

[A]ATHLEMAX 50(S)  
¥118,800 (税抜価格 ¥108,000)



[B]TENSEI GRAY 60 for Callaway(S)  
¥118,800 (税抜価格 ¥108,000)



[C]SPEEDER NX GOLD 60(S)  
¥144,100 (税抜価格 ¥131,000)



[D]TOUR AD FI 6(S)  
¥140,800 (税抜価格 ¥128,000)



○ : 通常在庫 □ : 受注生産 ■ : 左用モデル受注生産

\* ATHLEMAX 50, TENSEI GRAY 60 for Callawayは、シャフトカット前の値になります。

\* シャフトスペック値は、メーカー (SPEEDER = 藤倉コンポジット株式会社、TOUR AD = 株式会社グラフィックデザイン) の公表値になります。

\* Assembled in China / Japan ヘッドカバー : Made in China / Vietnam

GRIP : Callaway Tour Velvet 360ラバー バックライン無し

[A][B][C][D]シャフト装着 : 約50g,口径60





Press Release  
報道関係各位

2026年1月19日  
キャロウェイゴルフ株式会社  
callawaygolf.jp

【QUANTUM ◆◆◆ MAXドライバー スペック】

CALLAWAY SELECTED STORE 限定製品

番手	W#1	
フェース素材 / 構造	鍛造 FS2S チタン+ポリメッシュ+カーボン / TRI-FORCEフェース / フェースカップ	
ボディ素材	トライアクシャル・カーボンクラウン&ソール+スクリュー・ウェイト約2g+ディスクリート・ウェイト約9g+約1g	
クラブ長さ (インチ)	[A][B][C][D] 45.5	
ヘッド体積 (cm <sup>3</sup> )	460	
ロフト角 (°)	9.0	10.5
ライ角 (°)	57.0	

シャフト名 (硬さ)	[A](S)	[B](S)	[C](S)	[D](S)
ラインアップ	9.0	□●	○●	○●
	10.5	○●	○●	□●
バランス	D1.5	D3	D2.5	D3
クラブ重さ	約309g	約318g	約315g	約319g
シャフト重さ	約55.0g	約63.5g	約62.0g	約66.0g
シャフトトルク	4.9	4.4	3.5	3.2
シャフト調子	中調子			

[A]ATHLEMAX 50(S)  
¥118,800 (税抜価格 ¥108,000)



[B]TENSEI GRAY 60 for Callaway(S)  
¥118,800 (税抜価格 ¥108,000)



[C]SPEEDER NX GOLD 60(S)  
¥144,100 (税抜価格 ¥131,000)



[D]TOUR AD FI 6(S)  
¥140,800 (税抜価格 ¥128,000)



○：通常在庫 □：受注生産 ●：左用モデル受注生産

\* ATHLEMAX 50, TENSEI GRAY 60 for Callawayは、シャフトカット前の値になります。

\* シャフトスペック値は、メーカー（SPEEDER＝藤倉コンポジット株式会社、TOUR AD＝株式会社グラフィックデザイン）の公表値になります。

\* Assembled in China / Japan ヘッドカバー：Made in China / Vietnam

GRIP：Callaway Tour Velvet 360ラバー バックライン無し  
[A][B][C][D]シャフト装着：約50g,口径60

